

○計画期間：平成25年4月～平成29年3月（5年0月）

## I. 中心市街地全体に係る評価

### 1. 平成25年度終了時点（平成26年3月31日時点）の中心市街地の概況

#### ■はじめに

平成19年11月に認定を受けた「鳥取市中心市街地活性化基本計画」の計画期間終了を踏まえ、「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」を策定し、平成25年3月に国の認定を受けた。

平成25年度も中心市街地と各地域生活拠点とを公共交通などにより有機的に結ぶ「多極型のコンパクトなまちづくり」の方針のもと、中心市街地の再生に向けた取り組みを展開した。

#### ■まちの動き

郊外では、平成25年3月に鳥取自動車道（中国横断自動車道姫路鳥取線（佐用～鳥取間））が全線開通、また、山陰近畿自動車道駟馳山バイパスが開通し、地域経済の活性化と交流人口の拡大に大きな効果を生み出している。

一方中心市街地では、平成25年7月、市道駅前太平線の約150m区間に開閉式大屋根・芝生広場を整備した「駅前太平線バード・ハット」が完成した。週末を中心に様々なイベントが開催され、平成25年度には延べ約85,000人の集客があり、駅前の新たな賑わい拠点として定着し始めている。また、100円循環バス「くる梨」は、鳥取駅と鳥取城跡、若桜街道と智頭街道の中心市街地の二核二軸を循環する新コースが走行開始し、平成25年度の利用者数が前年比25%増となるなど、中心市街地の交通利便性が大幅に向上した。平成26年3月には鳥取駅構内のテナントビル「シャミネ鳥取」がリニューアルオープン。鳥取県、中国地方初出店のテナントも多く、新たな賑わい創出と周辺商店街への波及効果が期待されている。このほか、鳥取駅北口に医療看護専門学校の誘致が決定。平成27年4月の開校をめざし、現在校舎新築工事が行われている。

#### ■基本計画の進捗状況

「医療看護専門学校設置・運営事業」を認定基本計画事業として追加し、全56事業となった。2事業が完了。52事業が実施中。2事業が未着手。

### 2. 平成25年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

鳥取市中心市街地活性化協議会においては、鳥取市をはじめ経済団体や大学等の関係機関で構成するタウンマネジメント会議及び研究会を月に1回定例で開催し、基本計画掲載事業の進捗状況等について情報共有を図ると共に、推進における課題やその対応方策について検討を行い、中心市街地活性化の総合調整を図った。また、各事業の推進においては、必要に応じてタウンマネージャーにより事業設計や調整、運営支援を行い、あわせて、新たな事業発掘に向けて調査・分析を実施したり、協議へ参画するなどして、事業化に向けて事業主体のサポートを行った。

平成25年度の基本計画の進捗については、各種数値目標を達成することができており、当協議会で調査を行った新規開業の状況としても、徐々に若い世代や特色のある業種、不足業種の出店が増えてきており、基本計画は概ね順調に進行していると考えます。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
街なか居住の推進	中心市街地の居住人口 (社会増減数)	77 人/年	社会増減 をプラスに する	13	-	①
賑わいの創出	主要 10 地点歩行者・自 転車通行量【平日】	13,229 人/日	14,000 人 (+771 人、 +5%)	14,828	-	①
	主要 10 地点歩行者・自 転車通行量【休日】	9,377 人/日	9,900 人 (+523 人、 +5%)	11,384	-	①
	新規開業数	17.7 店舗	20 店舗 (13%増)	26	-	①

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### ■基本計画目標指標の状況

##### 【人口の社会増減】

社会増減数（出生・死亡を加味しない、転入・転出に伴う人口の増減）について、基準値である平成 18 年度～23 年度の平均値は+77 人/年であるが、平成 25 年度～平成 29 年度の見込値が△96 人/年であるため、目標値を「プラスにすること」としている。

街なか居住者支援事業、既存ストック活用支援事業の利用実績は無かったものの、UJI ターン促進事業により 16 人が中心市街地に移住し、人口増に寄与した。平成 25 年度の社会増減数は+13 人と目標値を上回った。年代別では、40 歳代が+32 人、30 歳代が+16 人、生産年齢人口全体では+35 人となっている。

##### 【歩行者通行量】

平成 25 年度の歩行者通行量は、平日が 14,828 人と基準値比 12%増、休日が 11,384 人と基準値比 21%増と大幅に増加し、共に目標値を上回った。「市道駅前太平線賑わい空間活用事業」、「パレットとっとり運営事業」、「100 円循環バス「くる梨」運行事業」等の効果に加え、平成 25 年度より近年の猛暑の影響を避けるために、調査時期を夏から秋に変更したことが大きな要因と考えられる。

##### 【新規開業数】

平成 25 年度の新規開業数は 26 店舗、基準値比 47%増となり過去 5 年間で最も多かった。空き店舗対策事業の利用による新規出店は 8 店舗であり、目標指標に寄与している。従来新規出

店が多かった飲食業に加え、小売業、事務所など、前年と比較して多様な業種が出店している。

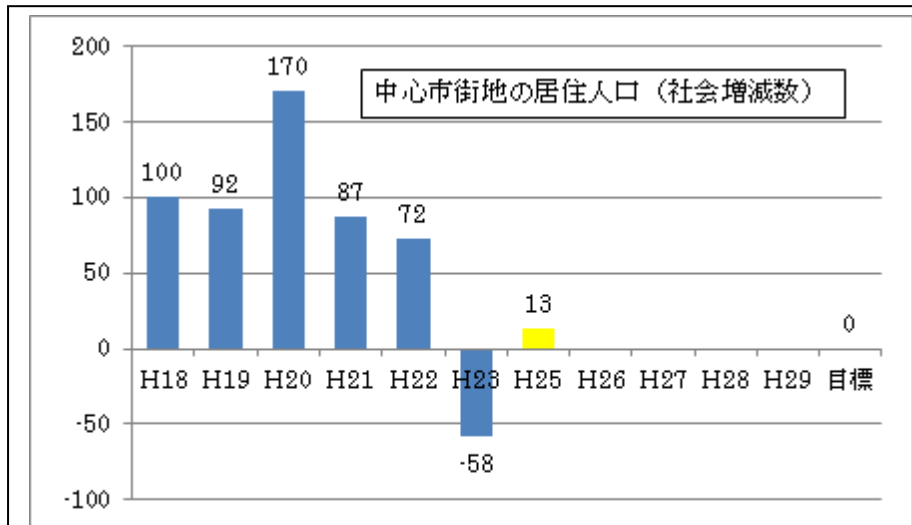
### **3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由**

前回フォローアップは実施していない。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心市街地の居住人口（社会増減数）」※目標設定の考え方基本計画 P62 参照

##### ●調査結果の推移



※調査方法：住民基本台帳を基に中心市街地の転入・転出・転居者を集計

※調査月：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

※調査主体：鳥取市

※調査対象：中心市街地内の転入・転出・転居者

年	人/年
H18 ～ H23	平均値 77 (基準年値)
H24	-
H25	13
H26	
H27	
H28	
H29	
H25 ～ H29	平均をプラスにする (目標値)

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. 街なか居住者支援事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成 25 年度～
事業概要	中心市街地の民間賃貸住宅への入居や住宅取得のための支援を行うことにより、中心市街地への定住促進を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 26 年度より、住宅取得資金に対する利子補給を開始予定。

###### ②. 既存ストック活用支援事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成 25 年度～
事業概要	中心市街地の空き家の利活用や、国の事業を活用した住宅改修を行う場合の追加支援を行うことにより、空き家の解消と中心市街地への定住促進を図る。
事業効果及び進捗状況	空き家改修支援事業に対する平成 25 年度の利用実績は 0 件。

###### ③. 住まいネットワーク事業（鳥取市・鳥取県宅地建物取引業協会）

事業完了時期	【実施中】平成 22 年度～
事業概要	中心市街地の不動産情報の提供を行うことにより、中心市街地への関心喚起、ならびに中心市街地への定住促進を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 23 年 1 月より、住まいに関する総合相談窓口を、(社)鳥取県宅地建物取引業協会東部支部に委託し設置。専門の相談員を配置し、相談業務に対応している。平成 25 年度の相談受付 106 件。

###### ④. UJI ターン促進事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成18年度～
事業概要	市外からの定住希望者に対する情報提供や住宅改修助成等の支援を行うことにより、中心市街地における居住人口の増加を図る。
事業効果及び進捗状況	当該事業による平成25年度の移住者は鳥取市全体で160世帯、288人。中心市街地では10世帯、16人。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

大型の民間集合住宅の建設もなく、また、街なか居住関連事業の利用実績が少ない中で、平成25年度の社会増減数は目標値を上回る結果となった。

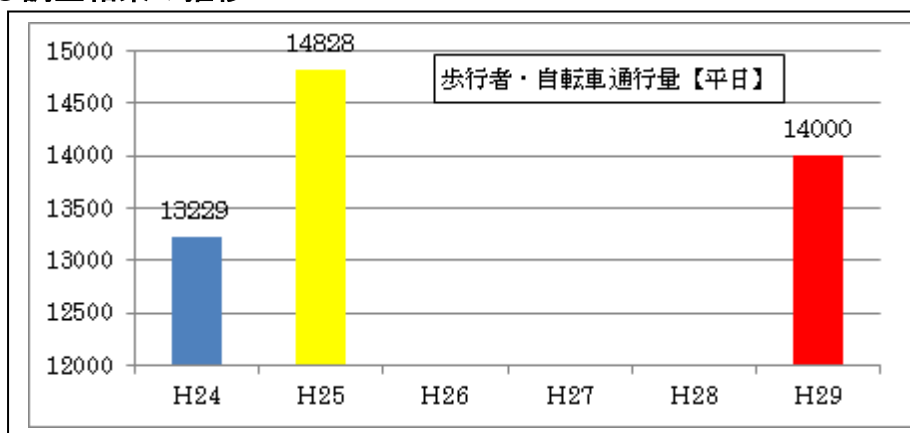
今後は、「空き家改修支援事業」、「住宅取得資金に対する利子補給」等の新たな施策の浸透を図り、利用促進に努めるとともに、定期借地やコーポラティブ方式による住宅供給も啓発し、支援を行っていく。さらに、「住まいに関する総合相談窓口（住まいネットワーク事業）」や「UJ1ターン促進事業」、「街なか居住体験施設」などによる街なか居住の情報発信、啓発を進めていく。

また、平成27年4月には鳥取駅北口に医療看護専門学校が開校予定であることや、鳥取駅南口に大型民間集合住宅が建設中であり、さらなる居住者の増加が期待される。

上記取り組みの推進により、目標達成は可能であると見込まれる。

### 「主要10地点歩行者・自転車通行量【平日】」※目標設定の考え方基本計画P62参照

#### ●調査結果の推移



年	人
H24	13,229 (基準年値)
H25	14,828
H26	
H27	
H28	
H29	14,000 (目標値)

※調査方法：鳥取商店街連合会に調査実施を委託。10月の平日1日において調査。該当地区内10地点において、9:00～19:00まで調査員が数取器により計測し、把握する。

※調査月：平成25年10月

※調査主体：鳥取市商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内10地点における歩行者および自転車

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. 市道駅前太平線賑わい空間活用事業（新鳥取駅前地区商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	道路空間の再配分により整備する全天候型広場を活用したイベント等を定期的に開催することにより、中心市街地の集客増、ならびに交流促進を図る。

事業効果及び進捗状況	平成25年7月に、鳥取駅前太平線に開閉式の大屋根と芝生広場のある空間（愛称「バード・ハット」）がオープンした。週末を中心に様々なイベントを実施し、平成25年度には約85,000人の来客があった。全天候型の「賑わい空間」として定着している。
------------	---

②. パレットとっとり運営事業（鳥取本通商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成17年度～
事業概要	生鮮食料品や飲食等の日常生活関連業種が入居する商業施設「パレットとっとり」を運営することにより、来街者や居住者の利便性の向上、ならびに中心市街地の集客増を図る。
事業効果及び進捗状況	平成25年度の入館者数は約288,000人と、前年度比9%増となっており、来街者の増加に寄与している。

③. 100円循環バス「くる梨」運行事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成14年度～
事業概要	中心市街地における公共交通不便地域の解消と公共公益施設利用者の利便性向上のために循環バスを運行している。平成25年度から、新規に1路線を増設することにより、さらなる来街者および居住者の利便性の向上を図っている。
事業効果及び進捗状況	平成25年度に中心市街地区域内を中心に1路線新設したことにより、利用者が前年度に比べ約72,000人増加しており、来街者の増加に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成25年度の歩行者通行量は、平日が14,828人と基準値比12%増、休日が11,384人と基準値比21%増と大幅に増加し、共に目標値を上回った。平成25年7月に完成した「駅前太平線バード・ハット」では、週末を中心に様々なイベントが開催されており、平成25年度には延べ約85,000人の集客があり、駅前の新たな賑わい拠点として定着し始めている。同じく平成25年7月にオープンした街なか拠点施設「まちパル鳥取」の効果もあり、鳥取駅周辺の歩行者通行量は平日が前年度比+1,485人、休日が+571人と大幅に増加した。また、100円循環バス「くる梨」は、平成25年4月より中心市街地区域内を中心に循環する新コースが走行開始し3路線となり、平成25年度の利用者数が前年に比べ約72,000人増加するなど、来街者の増加と施設間の回遊性の向上に寄与している。

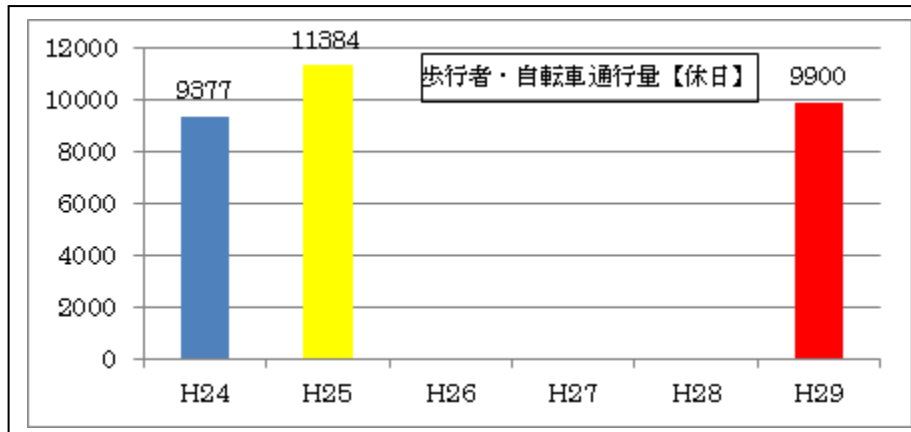
平成26年3月には鳥取駅構内のテナントビル「シャミネ鳥取」がリニューアルオープンし、鳥取駅周辺の来街者の増加が見込まれる。また、平成26年6月に「鳥取環境大学まちなかキャンパス」が開校予定、さらに平成27年4月には鳥取駅北口に医療看護専門学校が開校予定であり、若者による賑わいの創出が期待される。

また、中心市街地に立地する文化観光施設等において、それぞれの特性を活かしたイベント等を開催することにより、中心市街地の集客増を図るとともに、施設間の連携により、来街者の回遊性の向上や滞留時間の延長をめざす。

上記取り組みの推進により、目標達成化は可能であると見込まれる。

「主要10地点歩行者・自転車通行量【休日】」※目標設定の考え方基本計画 P62 参照

## ●調査結果の推移



年	人
H24	9,377 (基準年値)
H25	11,384
H26	
H27	
H28	
H29	99,000 (目標値)

※調査方法：鳥取商店街連合会に調査実施を委託。10月の休日1日において調査。該当地区内10地点において、9:00~19:00まで調査員が数取器により計測し、把握する。

※調査月：平成25年10月

※調査主体：鳥取市商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内10地点における歩行者および自転車

## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 市道駅前太平線賑わい空間活用事業（新鳥取駅前地区商店街振興組合）  
「【再掲】P6参照」
- ②. パレットとっとり運営事業（鳥取本通商店街振興組合）  
「【再掲】P7参照」
- ③. 文化観光施設等運営事業

事業完了時期	【実施中】昭和51年度～
事業概要	中心市街地に立地する文化観光施設等において、それぞれの特性を活かしたイベント等を開催することにより、中心市街地の集客増を図るとともに、施設間の連携により、来街者の回遊性の向上や滞留時間の延長を図る。
事業効果及び進捗状況	事業対象文化施設(3施設)の平成25年度入込客数は163,582人であり、平成24年度の162,977から微増しており、来街者の増加に寄与している。

## ●目標達成の見通し及び今後の対策

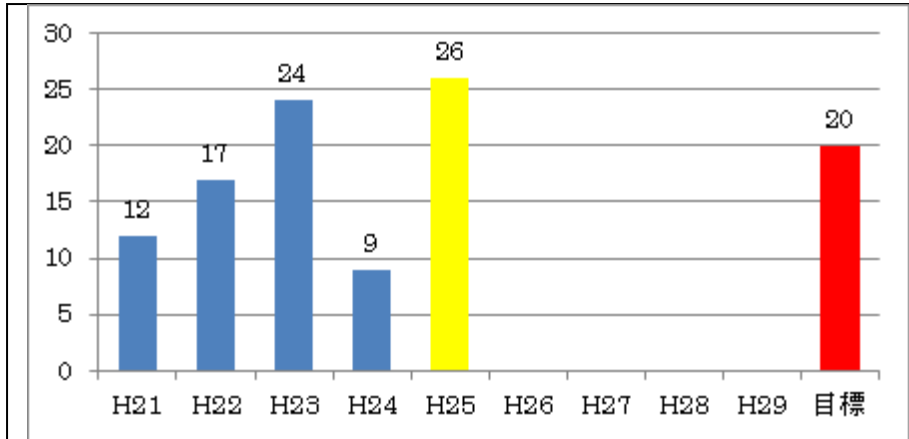
「【再掲】P7参照」



#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「新規開業数」※目標設定の考え方基本計画 P63 参照

##### ●調査結果の推移



年	人/年
H21 ～ H24	平均値 17.7 (基準年値)
H25	26
H26	
H27	
H28	
H29	
H25 ～ H29	平均値 20 (目標値)

※調査方法：鳥取市中心市街地活性化協議会が調査を実施。商店街区域にある建物は毎月、その周辺区域にある建物は9月と3月に調査。1階部分の新規開業件数を目視により確認のうえ集計し、把握。

※調査月：平成25年4月～平成26年3月

※調査主体：鳥取市中心市街地活性化協議会

※調査対象：中心市街地商店街振興組合地区および周辺区域

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. 空き店舗対策事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成13年度～
事業概要	空き店舗を活用した新規開業に対する支援を行うことにより、空き店舗の解消と中心市街地の集客増を図るとともに、商店のシャッターが開くことによる景観向上を図る。
事業効果及び進捗状況	平成25年度は8店舗（うち大型空き店舗1件）が、空き店舗を活用した新規開業を行った。

###### ②. 鳥取市商業振興補助事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成13年度～
事業概要	商店街の環境整備や販売促進活動等に対する支援を行うことにより、中心市街地の集客増、並びに中心市街地への関心喚起を図る。
事業効果及び進捗状況	平成25年度活動促進事業1件、環境整備事業は2件の利用があった。

##### ●目標達成の見通し及び今後の対策

平成25年度の新規開業数は26店舗、基準値比47%増となり過去5年間で最も多く、目標値を上回った。従来新規出店が多かった飲食業に加え、小売業、事務所など、前年と比較して多様な業種が出店している。

今後は、必要に応じて事業の見直しを行いながら、引き続き、空き店舗の活用促進による賑わい創出ならびに商業振興を図る。

また、リノベーション手法により「遊休不動産を活用したまちづくり」に取り組む「技術者」、

「担い手」の育成と、「不動産所有者」へストック活用を啓発することで、民間主体による遊休不動産の活用を促進し、新規開業数のさらなる増加をめざす。

上記取り組みの推進により、目標達成化は可能であると見込まれる。